

ハンドボール No16

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 た

年月日 2022 年 10 月 9 日 (日)
大会名 第77回いちご一会とちぎ国体

公式記録用紙

A 埼玉県						愛知県						B		
栃木県		栃木市				マルワ・アリーナとちぎ				決勝				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20-ジャンク	A	B
	16	15		33	30									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数	
	1/1	1	2	後3		1	2	後3		1/1				
			2754	2259	2809									

No.	埼玉県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	愛知県	G	W	2'	2'	D	DR
1	高橋 海							1	藤戸 豊介						
2	松岡 寛尚	6						2	山口 勇樹	1		1			
3	狩野 優太	1		1				3	戸井 凱音	1					
4	小澤 広太	6						4	矢野 世人			1			
5	安平 拓馬	2						5	市原 宗弥			1			
6	植垣 健人	7	1	1				6	小塩 豪紀	8					
7	時村 浩幹	1						7	水町 孝太郎	7	1				
8	山崎 佑真	6						8	古屋 悠生	1					
9	森 淳	1						9	原田 大夢	6					
10	安倍 竜之介	1						10	田中 大介	2					
11	香川 壮次郎	2						11	出村 直嗣	4					
12	木村 昌丈							12	中村 匠						
監督A	近藤 恒俊							監督A	田中 茂						
役員B	岩 永生							役員B	畠中 益喜						
役員C	馬場 佑貴							役員C	ウーゴロバス						
役員D	村田 博明							役員D	杉山 正幸						

A 近藤 恒俊 チーム役員A署名 田中 茂 B

特記事項

レフェリー	池淵 智一	檜崎 潔	池淵 智一	檜崎 潔
TD	富田 拓	大塚 清彦	富田 拓	大塚 清彦
MO	大村 久		大村 久	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No 15

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 9日 (日)	試合番号	た	回戦	決勝戦
種別	成年男子	会場	マルワアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
埼玉			愛知		
得点合計	小計		小計	得点合計	
33	16	前半	15	30	
	17	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

実業団同士の対決となった成年男子決勝戦は、埼玉県のスローオフから始まった。先制点は愛知②山口の速攻。序盤から互いに点を取り合う激しい展開となった。埼玉は足を使ったリスタートからの得点で、愛知は主に⑥小塩のサイドシュートで得点を稼ぎ、10分を経過しても9対9と両チーム一歩も譲らないシーソーゲームが続く。15分を経過したところで埼玉⑥植垣が退場するも、立て続けに愛知も退場者を出し、流れはどちらの手にも渡らない。20分を経過し未だ13対12。再び両チーム退場者を出し、愛知⑥小塩が7mTを確実に決める。25分14対14となるも、埼玉④小澤の連続得点により再び埼玉がリード。その後は両GKのナイスセーブもあり、16対15埼玉1点リードで前半を終えた。

後半が始まると、埼玉が②松岡のキレのあるカットインを含む4連続得点で愛知を引き離しにかかる。10分を経過し22対19。愛知は④矢野の退場もあったが簡単には崩されない。しかし埼玉の猛攻は止まらず、愛知は①藤戸がなんとか防ぐも16分25対20となったところでタイムアウトを要請し、流れを変えようと試みる。食い下がる愛知は⑦の水町カットインなどから着実に追い上げ、20分を経過し27対25とする。それでもなお攻撃の手を緩めることのない埼玉。25分再び5点差となる。試合も残り2分となり、もう後がない愛知はタイムアウト明けからディフェンスラインを上げ勝負に出る。しかし決死の追い上げもわずかに届かず、結果は33対30と埼玉が逃げ切る形で優勝を飾った。

記載者氏名

飯塚 由鳥

送信日時

10月 9日 (日) 17:30